



はこだて Marine Letter

令和4年5月 No.108

ミニボートを安全に使用するために！！

ミニボートは小型船舶操縦士免許やボートの検査等が必要ではないため、船に関する知識や経験がない方でも気軽に使用することが可能であることから、誤った判断や取り扱いにより海難が発生しています。

そこで次の事項に注意してミニボートを安全に使用して下さい。

ミニボートの出港前に関する注意事項

- ① 出港前には必ず気象・海象を調べ、**風や波が強い場合は出港を中止**する。
- ② 出港前には**エンジンが正常な状態**であるか、**燃料油は十分な量**が入っているか点検する。
- ③ 沖合いで機関故障、燃料油切れが起きた場合でも対処出来るように**工具、取扱説明書、予備の燃料タンク**を持つ。
- ④ 緊急時（機関故障、浸水等）に使用する**オール、ロープ、バケツ**を必ず持つ。
- ⑤ **海上の交通ルール**に関する知識を身に付ける。
- ⑥ ミニボートは他の船から見えずらく、レーダーにも映りにくいので、**旗竿等で周囲に自身の存在を知らせる工夫**を行い夜間は船を出さない。
- ⑦ **ライフジャケットの常時着用、連絡手段の確保**（防水機能付きの携帯電話若しくは携帯電話用防水パックの使用）を心掛ける。

- ・小さな船でもあなたが船長！！
- ・同乗者の安全確保、海難防止の責任があります！！



上記の注意事項は、ミニボートを使用する方だけでなく、プレジャーボートを使用する方にも共通して当てはまるところもあります。

また、プレジャーボートでミニボートの近くを航行する際には減速し、波を立てないようになるべく離れて航行することを心掛けて下さい。

観天望気（津軽海峡の昔からある天気のことわざ）

- ・ヤマセの前のうけ凧（根崎地区）
海がべた凧になると、5から10時間後には南東風となり時化する。
- ・クダリ、ニシタマにかわせば三角波（上磯地区）
南風が北西風に変わるとき、三角波が立つので小型船は危険。
- ・沖の切り上がりはミナミ（小安地区）
南の水平線付近の雲だけがなくなって明るくなると、南風が吹いて時化する。

